

ヘブル 10:39 私たちは、恐れ退いて滅びる者ではなく、信じていのちを保つ者です。

## 1. エリヤ殺害宣言

1列王記 19:1 アハブは、エリヤがしたすべての事と、預言者たちを剣で皆殺しにしたことを残らずイゼベルに告げた。:2 すると、**イゼベル**は使者をエリヤのところに遣わして言った。「もしも私が、**あすの今ごろまでに、あなたのいのちをあの人たちのひとりのいのちのようにしなかったなら、神々がこの私を幾重にも罰せられるように。**」

### ➤ イゼベル

1. エリヤのしたすべての事を聞いても、神様の前で悔い改めないイゼベルとアハブ王様
2. 神の預言者であるエリヤも殺そうとする極悪な性質
3. 神様を全く恐れない

## 2. エリヤの行動

19:3 **彼は恐れて立ち、自分のいのちを救うため立ち去った。**ユダのベエル・シェバに来たとき、若い者をそこに残し、:4 自分は荒野へ一日の道のりをはいて行った。彼は、えにしだの木の陰にすわり、自分の死を願って言った。「主よ。もう十分です。私のいのちを取ってください。私は先祖たちにまさっていませんから。」:5 彼がえにしだの木の下で横になって眠っていると、ひとりの御使いが彼にさわって、「起きて、食べなさい。」と言った。:6 彼は見た。すると、彼の頭のところに、焼け石で焼いたパン菓子一つと、水のはいたつぼがあった。彼はそれを食べ、そして飲んで、また横になった。7 それから、主の使いがもう一度戻って来て、彼にさわって、「起きて、食べなさい。旅はまだ遠いのだから。」と言った。8 そこで、彼は起きて、食べ、そして飲み、この食べ物に力を得て、四十日四十夜、**歩いて神の山ホレブに着いた。**

### ➔ イゼベルの宣言『24時間以内にエリヤを殺す』

- 1) エリヤは恐れを感じて、命を救う為に立ち去った。『**恐れ**』『**恐怖**』
- 2) エリヤは、自分の死を願った：自分に価値が無い。生きていても意味が無い。『**落胆**』
- 3) み使いは、エリヤに食べ物と水を与えて、目的地に行くまで励ました。
- 4) エリヤは、40日間かけて神の山ホレブに着いた。

## 3. エリヤ神様との会見

19:9 彼はそこにあるほら穴にはいり、そこで一夜を過ごした。すると、**彼への主のことばがあった。**主は「**エリヤよ。ここで何をしているのか。**」と仰せられた。:10 エリヤは答えた。「私は万軍の神、主に、熱心に仕えました。しかし、イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうとねらっています。」11 主は仰せられた。「外に出て、山の上で主の前に立て。」すると、そのとき、主が通り過ぎられ、主の前で、激しい大風が山々を裂き、岩々を砕いた。しかし、風の中に主はおられなかった。風のあとに地震が起こったが、地震の中にも主はおられなかった。12 地震のあとに火があったが、火の中にも主はおられなかった。火のあとに、かすかな細い声があった。13 エリヤはこれを聞くと、すぐに外套で顔をおおい、外に出て、ほら穴の入口に立った。すると、**声が聞こえてこう言った。「エリヤよ。ここで何をしているのか。」**14 エリヤは答えた。「私は万軍の神、主に、熱心に仕えました。しかし、イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうとねらっています。」

## → 神様との会見

## ▶ 「エリヤよここで、何をしているのか」

エリヤの答えは、神様に心中を打ち明けることでした。「一生懸命神様に仕え、神の御言葉を示し、神の力を現わして、人々を主の元に導こうとしてきました。しかしイスラエルの王は神様に罪を悔い改めるところか、まだ反抗し続け、自分の命まで狙われています。今は、主に仕える預言者は自分一人です。神様もう無理です。限界です。ここまで逃げてきました。」

## → 新しい使命と神様の目的が示される

19:15 主は彼に仰せられた。「さあ、**ダマスコの荒野へ帰って行け**。そこに行き、ハザエルに油をそそいで、アラムの王とせよ。16 また、ニムシの子エフーに油をそそいで、イスラエルの王とせよ。また、アベル・メホラの出のシャファテの子エリシャに油をそそいで、あなたに代わる預言者とせよ。17 ハザエルの剣をのがれる者をエフーが殺し、エフーの剣をのがれる者をエリシャが殺す 18 しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残しておく。これらの者はみな、バアルにひびをかかめず、バアルに口づけしなかった者である。」

1) **ダマスコの荒野に帰りなさい**

- 2) ハザエルをアラムの王としなさい
- 3) エフーをイスラエルの王としなさい
- 4) エリシャをあなたに代わる預言者としなさい

鬱的に落胆した、エリヤに神様の御計画を示されます

エリヤの働きは決して無駄ではないと証明されます

エリヤにはまだ働きが残っていて、3人の人を油注いで、神様の働きに召すこと。

神様は、この3人によりアハブ王様を裁き、イスラエルの偶像礼拝者を裁かれる御計画です

## 応用

## → 誰にでも襲ってくる落胆とうつ

神様と直接対話する預言者エリヤでさえも落胆して鬱になることを覚えましょう  
信仰が強い人だから、落胆しないとか、鬱と無関係と思わないようにしましょう。  
一生懸命やっても、結果が見られない、自分の手に負えないと感じる

## → 鬱的な状況の特徴

- 1 逃げ出す、恐れや不安に満ちる
- 2 自分は役に立たない、十分でない『私は先祖にまさっていない』
- 3 生きていてもしょうがない。『主よ。私の命を取ってください』
- 4 孤独、自己憐憫になる『自分一人しかない』
- 5 神様の臨在に、気がつかない。

## → 神様は、貴方を励まし、語られます

「エリヤよ、ここで何をしているのか？」

働き場から逃げ出して主の山にいるエリヤに召しを思いおこさせるためでした。

「ダマスコに帰っていきなさい」

再び、貴方の働き場に戻りなさい。新しい使命を与えよう。貴方は落胆したけれども、貴方一人の働ではなくて、他に3人の者を用いて、神様の御計画を成就させる。又7千人の偶像礼拝をしな人々が残されている。

## → 神様に背を向けて滅びる者ではなく、信じて命を保つ者です【ヘブル 10章 39】

エリヤは恐れ、落胆した時に主の元から退かないで、主の前に立ちました。

神様はみ使いを用いて、エリヤを食べ物や言葉をもってはげまされました

神様は、エリヤに新しい使命を与えられました。